

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
宮城東部衛生 処理組合地域	多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町	平成29年4月1日～ 令和4年3月31日	平成29年度～ 令和3年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現 状 (平成27年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	14,308t	13,792t	14,115t	36.1%
	1事業所当たりの排出量	3.46t	3.33t	3.15t	236.8%
	生活系 総排出量	34,240t	31,214t	32,684t	51.1%
	1事業所当たりの排出量	213kg/人	177kg/人	213kg/人	0.0%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	48,548t	45,006t	46,799t	49.3%
	集団資源化量	830t	1,085t	288t	-212.7%
再生利用量	直接資源化量	0t	0t	0t	0.0%
	総資源化量	6,016t	7,782t	5,092t	-29.8%
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量）	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	6,767t	5,868t	6,794t	-66.7%

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

(排出量)

1. 事業系総排出量

- ・事業者への減量化指導の徹底が図れなかったことが要因と考えられる。

2. 生活系総排出量

- ・平成30年度までは、目標達成されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、行動制限による自粛生活が始まった平成31年度末頃から、生活系のごみ量は徐々に増加傾向になり、目標値との乖離が進んだものと考えられる。
- ・もやせるごみの中に製品プラスチック、プラスチック製容器包装、缶等の資源物の混入が目立っており、分別の徹底が図られていなかった。

3. 再生利用量

- ・大型スーパー等でも資源物の店頭回収を実施しており、資源回収の普及が進んでいる。店頭回収を利用する住民の方が増加しているものと考えられる。

4. 最終処分量

- ・上記排出量の目標が達成されなかったことによるもの。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和10年度まで

1. 事業系総排出量

- ・事業所訪問を実施し、事業系廃棄物の減量及び適正排出の指導を実施するとともに食品ロス削減の取り組みに係る啓発活動の実施を検討する。

2. 生活系総排出量

- ・生活系の中でも、もやせるごみが予測量に対し、増加傾向にあるため、構成市町において広報やSNS等で分別徹底の周知活動を実施するとともに、新たなリサイクル品目（製品プラスチック、布等）の追加を検討する。

3. 再生利用量

- ・構成市町において広報やSNS等で分別指導の徹底、周知活動を実施する。また、新たなリサイクル品目（製品プラスチック、衣類等）の追加を検討する。

4. 最終処分量

- ・上記排出量及び再生利用量の方策を実施し、最終処分量の削減を図る。

(都道府県知事の所見)

排出量については、計画期間中の生活系総排出量が微減、1人当たりの排出量は横ばいで推移したことから、生活系ごみの減量化に資する住民向けの広報・啓発活動に一層努められたい。

再生利用量と最終処分量については、目標達成に向けた方策にあるように、ごみの分別の徹底による資源化率の向上に努めるとともに、新たなリサイクル品目の追加を検討するなど、最終処分の抑制に努められたい。